

# 「保険医療危機を訴える」県民集会

## 1. 目的

我国の医療は国民皆保険であり、WHO（世界保健機構）の「健康寿命」においては3年連続世界一を果たすなど、世界に誇る保険医療制度であります。

しかしながら、政府は医療制度改革と称し、昨年10月に高齢者の自己負担増を断行し、また今年4月にはサラリーマンの自己負担を2割から3割へ増やすことを決定しております。こうした自己負担増は、依然続く不況下において、高齢者をはじめとする県民へ新たに大きな経済的負担を課すとともに、必要な受診を障害し病気の早期発見・早期治療を遅らせることとなり、健康に与える悪影響も計り知れません。

このように政府が進める医療制度改革は、国民が安心して暮らすためのセーフティネットという社会保障の本来の意義を放棄し、財政的理由を国民の健康より優先させるという暴挙であります。

私たち医療関係者は、国民の健康を担う立場からこうした事態を看過することはできず、広く県民の皆さんとともに「保険医療」というものがどうあるべきかを考えるため、この集会を開催いたします。

## 2. 日時及び場所

日時 平成15年3月14日（金） 午後2時～午後4時

場所 はまぎんホール ヴィアマーレ

横浜市西区みなとみらい3-1-1 : 045-225-2173

## 3. 主催

(社)神奈川県医師会・(社)神奈川県歯科医師会・(社)神奈川県薬剤師会  
(社)神奈川県病院協会・(社)神奈川県看護協会

## 4. 対象 一般県民および医療関係者等 約500名

## 5. 次第

司会	神奈川県医師会理事	加行尚
開会	神奈川県医師会副会長	栗山覚
挨拶	神奈川県医師会長	田中忠一
	神奈川県歯科医師会長	大森一昌
	神奈川県薬剤師会長	尾崎英俊
	神奈川県病院協会会長	土屋章
	神奈川県看護協会会長	浅川明子

発言 「保険医療の危機を訴える」

座長 神奈川県医師会副会長 関本信

発言者 神奈川県消費者の会連絡会代表幹事 村田恵美子

藤沢市老人クラブ連合会長 長谷川森一

神奈川県医師会理事 宮路浩行

神奈川県歯科医師会専務理事 高橋紀樹

質疑・討論

閉会 神奈川県医師会副会長 加藤勲